

会話のきっかけレシピ通信

第3号
2008.7

夏のレシピ 会話のきっかけに便利なく旬>の材料を集めました。

季節の材料	会話例(レシピ)
<p>クーラー</p>  <p>せんす</p> <p>心道雲</p> <p>せんふうき</p>	 <p>クーラーまきすぎ (おあまりきいじゃない) ぞすね</p> <p>または 「夜、クーラー つけたままど 寝ますか？」 もバムリ</p>
<p>冷えた ビール</p> <p>アイス クリーム</p> <p>スイカ</p> <p>SALE</p> <p>BARGAIN</p> <p>バーゲン</p>	<p>あつりから アイスクリーム ばかり食べちゃう (あ ジュース ビール)</p> <p>XXさんは たバ(のみ) ますか?</p>
<p>高校野球 オールスター</p> <p>海・プール</p> <p>夏休み</p>  <p>蚊</p>	<p>ボン休み おわっちゃい ましたねえ</p> <p>すぐやなー</p> <p>ほんま ダレや</p>
<p>夏バテ</p> <p>日焼け</p> <p>暑がり 汗かき</p> 	<p>暑すぎて バテ気味 ぞすわー</p> <p>XXさん は 大丈夫 ぞすか?</p>

会話のきっかけレシピ通信 製作: grassgreen ばんアナンバーはHPでごらんになれます。

ホームページ: <http://gg.penguinrain.net> (お問い合わせは、こちらのHPのメールフォームよりお願いします)

ぼて君の雑談お悩み劇場
笑顔が大事、というのはよく分かっているのだけど...

笑顔をつくる
余裕が
ありません



①声をかけるタイミングがつかめない

や、休みの日は
お休みの日は
お休みの日は
お休みの日は

あ?
ああ...



②どんなことを話したらいいか分からない



③せっかく話しかけられても、返す言葉を思いつかない



④相手や場面によってネタをうまく使い分けられない



⑤以上により、失敗が重なってキンチョーしてしまい、笑顔どころではなく強張った怖い表情になってしまう



コラム：まずは言葉から失敗を減らす

人と喋るのが苦手、という「まずは笑顔でいることが大事なのでは?」とよくいわれます。

実際、コミュニケーションの優先順位からいうと言葉より表情のほうが大事なのは勿論です。

「まずは笑顔から」と言われて、笑顔がちゃんと作れる人はそれで何ら問題はないと思います。

実際、人と話すのが苦手なひたすらニコニコして沈黙を切り抜けている人はたくさん居ると思います。笑顔で居れば無口でも悪い印象は持たれませんから、それが出来るのなら、それがベストなんじゃないかとさえ思います...

ところが悲しいことに、失敗体験が積み重なってしまおうと、「また失敗してしまうのでは」という恐怖感や緊張感でガチガチになってしまい、笑顔どころでなくなってしまう人もいます。私もそうでした。

さて、上のマンガで失敗の内容を挙げてみました。この中で、②タイミング、④場面による使い分け、⑤笑顔 はなかなか他人に「方法」を説明するのが難しいです。言葉によらないものだからです。

従ってまずは言葉で他者と共有しやすい、マネしやすい②③から始めよう、というわけです。②④⑤もおいおい手がけてゆきたいと思っています。